

同窓会報

城 友

第 6 号

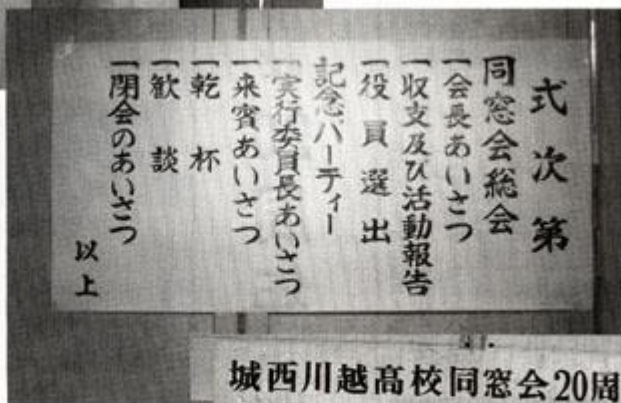
発行月日

平成 8 年 2 月 26 日

発行者 城西大学付属川越高等学校同窓会 川越市山田東町1042

TEL 0492 (24) 5665

FAX 0492 (23) 2371



— 同窓会創設20周年

記念式典開催さる —



昨年8月20日、東武ホテルで開催された式典に出席された先生方及び同窓生(右) 新編先生と第一期同窓生(左)



「同窓会創設20周年を むかえて」

同窓会会長 大坂谷良弘

同窓会は、昭和五十年に発足しまして、昨年は創設二十周年という記念すべき年にあたり、川越の東武ホテルにおきまして、総会、二十周年式典を開催しました。前回は、八年前に総会を開催しましたが、その時を期に役員一同が、何か母校の発展に寄与するような思返しをやらう、そして、同窓会



思っています。次に、卒業時の役員選出方法を変えました。このことで、役員会へも、若い人に出席してもらえようになり、「けやき祭」への継続参加を可能にしたり、様々な年代からの意見をもらうことで、今後の活動をより良い方向へと進めて行けると思っています。またまたや々と動き始めたという程度ではありますが、いつかは同窓会が、母校の発展を真に支えることの出発点よう努力して行きます。

同窓会創設 20周年 記念式典

の五十年、百年後に向けて、何らかの同窓会の基盤作りをしていくと決意しまして、本会を運営してきました。

その頃を思い返してみますと、役員会を開くために、お知らせのハガキを出しても、数名の出席者しかないという状態で、卒業年次ごとの各役員ですら、同窓会の存在を忘れていたのではと思うほどでした。そこで、卒業生、在校生にこのようにしたら同窓会を創設してもらえるか、また、この数名

の役員でどこまで頑張れるか、お互いのスケジュールを調整しあって、今よりも数多く集まる機会を設け、お互いの意見交換をしていただくを思っています。

まずは、卒業生、在校生に同窓会を意識してもらおうということで始めたのが、同窓会報「城友」の発行です。卒業生の情報交換の場、母校の発展の様子を伝えることと、いつまでも城西出身の良き仲間という気持ちを持ってもらい、将来の大きな活動へと繋げたいと



同窓会20周年記念

ますので、皆様の尚一層の暖かい
お力添えをお願い申し上げます。



校長先生を囲んで語る同窓生
(右上、上)

新本部役員 (右)

会 長	大坂谷良弘
副 会 長	猪瀬 靖久
幹 事 長	清水 義昭
広 報 部 長	長谷川 治生
計 画 部 長	瀬上 浩司



記念式典に出席して

お札にかえて

1期生 青木 一弥

私が教師になろうと決心したのは高校二年生の頃だ。たと思いません。

当時の城西川越高校は、新設校ということから施設・設備面での不十分さはあったものの、すべてが生きてきたと創造的でした。とりわけ、若い先生方と「やんちゃ」な一期生たちの生活は極めて活動的で、授業や部活動とおとした人間的な触れ合いが数多くありました。私が教職を夢見たきっかけも「師弟同行」を常に実践してくださっていた先生方の影響によるもの大きいと考えます。

時代は昭和から平成へと変わり教育の姿も大きく変化している昨今ではありますが、「教育は人なりの信頼関係を基盤とした心豊かな教育活動の創造こそ教育の不変と言えぬのではないのでしょうか。

この夏の同窓会に参加して、校長先生はじめ懐かしい先生方と二十年ぶりにお会いする機会を得ました。日頃、教師を外側から見

ることが少なくなっていました。が、「恩師」の有り難さを実感するとともに、教師としての自分自身の在り方を見詰め直す千金の一刻となりました。

城西高校同窓会に参加して

17期生 高久 裕充

区層の続く8月20日、川越の東武ホテルで城西高校の同窓会創立20周年記念式典が行われた。卒業してから4年半、新しい体験に浸食されるように忘れかけていた「母校」での楽しい思い出がよみがえる一方で、私たち卒業生にとって「母校」とは何なのかを考へる良い機会になったと思う。

開会のあいさつの後、懇親会では新藤校長とお話することができた。校長先生は学校設立の経緯や、学校教育の在り方について話され、自分の母校の校長に声をかけてもらい、大変励みになった。

お世話になった先生方との再開も嬉しかった。英語の坂本先生とは当時のクラスメイトの思い出話に花が咲いて楽しかった。同じく英語の嶋田先生とは、私が高2の時に教育実習生として我がクラス

を担当して頂いた時以来5年ぶりにお話することができた。当時の嶋田先生は教育実習生で、クラスみんなでひやかしていたものだったが、今では私も当時の嶋田先生と同じ年齢だ。時の流れのはやきを実感した。生活指導面でよく注意されていた私の友人Sは、当時の天敵(?)、生活指導の神内先生と感激の対面をしていた。当時の立場を乗り越えて、二人で酒酌み交わす姿がとても印象的で、今も目に焼き付いている。

このように、記念式典もなごやかに進んだ。多くのお世話になった先生方に会えたことで母校を身近に感じることができ、良い思い出となった。しかし、一方で同窓会に何か物足りなさを感じざるを得なかった。「なごやか」なのは盛りあがりにかけたともいえないのだ。実は、出席者は私の代で自分と友人の2人、それ以降の卒業生もわずか2、3名に過ぎなかった。

同窓会を変えるには何よりもまず先生方で同窓会の位置づけを考える必要があるのではないかと。卒業生は母校を離れ、客観的に眺めることでさまざまな意見や感想をもっているはずである。良い点もあれば悪い点もあろう。城西高校をよりよい学校にするために、同窓会を単なる同窓会にしないで、卒業生との活発な意見交換の場とするなど、ある方向性をもちた同窓会にしてみたらどうか。

また、卒業生にも意識の改革が必要だろう。卒業したから関係ないのではなく、卒業したからこそ、苦言や提言、さまざまな形で学校に関わっていくべきだと思う。学校の伝統を中心となって築いていくのは現役生徒だが、それを支えるのは我々OBではないだろうか。それが城西高校のモットーである「報恩感謝」の意味だと実感している。

その他にも、「式典に参加してよかった。」・「懐かしい先生方や友人に会うことができた。」・「お世話になった先生と一緒にお酒を飲みながらいろいろな話をする」とができて楽しかった。「母校の現状、同窓会の活動や組織について知ることができた。」・「料理がおいしかった。」など、多くの声がありました。これからも本部署員一同、30周年にむけて頑張っ

ていきたいと思えます。



恩師と語り合う
同窓生たち



卒業生の皆さん 母校の文化祭に 参加しませんか

文化祭参加の一例

- ・秘技・特技の披露
- ・文化芸能の披露
- ・優駿を聞く
- ・趣味の発表
- ・研究発表、講演（演題自由）
- ・貴重な体験談
- ・ボランティア活動（例えば床屋さんをしてくれる）
- ・コンサート（ジャンルを問わず）

「けやき祭」に参加し母校を盛り上げていこうではありませんか。

同窓会では、十年前から川越消防署の協力で、「なまず号（地震体験車）」に乗り地震を体験していただくことで「けやき祭」に参加してきました。未知の震度を体験し、恐ろしさが実感できるという点で毎年好評です。特に昨年度は阪神大震災の影響で過去最高の人気でした。

さて、本年度からは、「なまず号」に加えて新たな形での参加を検討することとなりました。表文化、裏文化を問わず、在校生、父母、一般の方々に、「見せたい」、「話したい」ことがある方、又、ボランティア活動として参加してくださるO.B.を心より募集いたします。



← 阪神大震災の影響もあり、昨年のなまず号は大盛況でした。



・昨年の文化祭の門は「雷門」を題材にしました
お手伝い頂いた22期生の方々御苦労様でした



「震度7」体験者の声

▽軽い気持ちでなまず号に乗ってみました。実際に揺れ始めると何もできないのでびっくりしました。貴重な体験ができたと思います。

▽「震度7」が体験できるのとこのことで、よい機会だと思いチャレンジした。震度が7になった時は、本当に恐かった。でもまた乗りたいと思った。

▽実際に震度7を体験してみても、これが現実だったから、とても大変なことだと思った。来年は知り合いを連れてもう一度乗りたい。

広告依頼について

城西の学び舎を巣立ち、同窓会の皆様には、様々な分野で、幅広く活躍されていることを存じます。ところで、その活動状況について、是非とも多くの人に知らせたいと考えていらっしゃる方も多いはず。例えば、店を経営されている方は、その店を紹介して皆に知ってもらおうとか、大学等で合唱団に入っている方は、コーラスがいっどこであるかを知ってもらおう等。

「城友」では、そのような皆様の力になればと思い、広告の欄を設けることにしました。「城友」を通じて多くの同窓生や恩師に、活動状況を報告できるチャンスです。この機会に、広告を出してあげませんか。

掲載料等、詳細は、本校の同窓会担当の先生へお問い合わせ下さい。お待ちしております。

(十八期生 高山聡)



平成7年度入試 大学合格者数

平成7年4月

国公立大学

大学	現役生	過年度生	合計	大学	現役生	過年度生	合計	大学	現役生	過年度生	合計
北海道	0(2)	2(1)	2(3)	東京医歯	0(1)	1(0)	1(1)	金沢	1(2)	1(0)	2(2)
東北	1(0)	1(2)	2(2)	東京工業	0(2)	2(1)	2(3)	信州	1(0)	0(0)	1(0)
山形	3(0)	0(0)	3(0)	東京商船	1(0)	0(1)	1(1)	京都	0(0)	1(0)	1(0)
宇都宮	1(1)	0(0)	1(1)	東京水産	0(0)	1(0)	1(0)	広島	1(0)	0(0)	1(0)
群馬	3(3)	0(0)	3(3)	東京農工	4(5)	1(4)	5(9)	高崎経済	1(1)	1(3)	2(4)
埼玉	5(7)	3(5)	8(12)	一橋	0(0)	1(1)	1(1)	東京都立	4(3)	1(2)	5(5)
千葉	4(5)	2(4)	6(9)	横浜国立	0(2)	2(0)	2(2)	横浜市立	0(0)	2(1)	2(1)
電気通信	5(2)	2(1)	7(3)	新潟	0(1)	1(1)	1(2)	その他	5(11)	2(13)	7(24)
								合計	40(48)	27(40)	67(88)

私立大学

大学	現役生	過年度生	合計	大学	現役生	過年度生	合計	大学	現役生	過年度生	合計
独協医科	1(0)	0(2)	1(2)	駒沢	5(11)	21(22)	26(33)	東京理科	15(19)	16(25)	31(44)
駿河台	3(10)	8(19)	11(29)	芝浦工業	14(4)	5(6)	19(10)	東邦	1(2)	2(4)	3(6)
東京国際	6(8)	8(7)	14(15)	龍天堂	1(0)	0(0)	1(0)	東洋	25(25)	43(55)	68(80)
城西	7(8)	7(13)	14(21)	上智	2(6)	9(12)	11(18)	日本	28(60)	53(72)	81(132)
独協	1(3)	3(4)	4(7)	昭和薬科	0(0)	1(2)	1(2)	法政	17(24)	33(43)	50(67)
千葉工業	0(3)	4(2)	4(5)	成蹊	21(16)	22(20)	43(36)	星薬科	1(0)	2(1)	3(1)
中央学院	0(0)	2(1)	2(1)	成城	6(2)	8(17)	14(19)	武蔵	16(23)	30(44)	46(67)
東京情報	1(0)	0(0)	1(0)	専修	4(3)	9(10)	13(13)	武蔵工業	11(2)	3(4)	14(6)
亜細亜	3(3)	10(6)	13(9)	大東文化	5(20)	30(43)	35(63)	明治	20(22)	44(54)	64(76)
青山学院	9(16)	21(20)	30(36)	中央	29(26)	36(37)	65(63)	明治学院	3(3)	14(7)	17(10)
桜美林	0(0)	1(0)	1(0)	帝京	3(11)	3(8)	6(19)	明治薬科	3(1)	3(2)	6(3)
学習院	5(8)	14(25)	19(33)	東海	7(3)	3(10)	10(13)	明星	2(3)	3(3)	5(6)
北里	1(2)	9(2)	10(4)	東京経済	3(6)	10(16)	13(22)	立教	7(8)	21(29)	28(37)
杏林	0(0)	1(0)	1(0)	東京工科	1(1)	1(2)	2(3)	早稲田	6(6)	32(35)	38(41)
慶応義塾	7(2)	11(11)	18(13)	東京歯科	0(0)	1(0)	1(0)	神奈川	0(0)	9(2)	9(2)
工学院	13(14)	5(9)	18(23)	東京電機	12(13)	7(14)	19(27)	同志社	0(1)	1(2)	1(3)
国学院	1(2)	6(6)	7(8)	東京農業	3(1)	7(0)	10(1)	立命館	1(0)	2(9)	3(9)
国士館	3(2)	9(4)	12(6)	東京薬科	1(0)	0(5)	1(5)	その他	11(10)	15(36)	26(46)
								合計	345	618	963
									(413)	(782)	(1195)

※()内は昨年度合格者数

卒業生進路状況

大学	147名	48.2%	就職	0名	0%
短期大学	0名	0%	進路未定	156名	51.1%
専門学校	2名	0.7%	合計	305名	100%

城西大学推薦入学者数

経済学科	1名	英学科	2名
経営学科	0名	製薬学科	1名
数学科	0名	化学科	0名
		合計	4名

他大学推薦入学者数

大学	学部	学科	人数	大学	学部	学科	人数	大学	学部	学科	人数
慶応義塾	商	文	1	中央	法	法	1	法政	法	1	
		商	1			政治	1				
早稲田	理工	情報	1		商	商業	1	独協医大	医	1	
		法	1			経済	1	立教	経済	1	
成蹊	経済	法律	1	理工	公共	1	青山学院	理	1		
		経済	1		土木	1	化学	1			

寄付・寄稿のお願い

〔同窓会運営募金のお願い〕

同窓会報の刊行、会員名簿の作成、けやき祭の参加など同窓会の活動は全て在校生が卒業時に収める同窓会費（3,000円）だけで運営されていますが、近年の活動資金不足は否めず、つきましては同窓生皆様に活動補助金として寄付をお願いしていくことになりました。今後の同窓会発展のために皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（口座）00190-0-613558 城西大学付属川越高等学校同窓会

“あなたも紙面作りに参加しませんか!!”

城西高校卒業生の・卒業生による・卒業生のための同窓会報「城友」も第6号の発行となりました。同窓会30周年へ向けて新たな歩み始めるうえで、卒業生のための情報ネットワークの担い手となるべく「城友」もなお一層の紙面充実をはかっていきたいと思っています。そこで次号よりこの6面をOBフォーラムと名付けて卒業生のための情報交換の場として盛り上げていければと考えています。友人への近況報告、クラス会の呼びかけ、「城友」へのご意見・ご感想などどんなことでも結構です。もちろん字数制限はありません。皆様からのご協力をお待ちしています。

‘We are as close as your mailbox!’

平成6年度 同窓会収支報告

収入の部

前年度の繰越金	5,634,532
定期利息	21,120
預金利息（1,003+822）	1,825
会費 @3,000×305名	915,000
特別会費	11,000
合 計	6,583,477

支出の部

通信費（切手代・郵送料）	2,420
交通費（合会議費）	76,000
カラージョイント	1,030
テレホンカード	111,875
文化祭準備費	71,240
慶弔費（花環代）	15,965
長4封筒	135,445
城友発送代 @80×8,206	656,480
城友5号@29.50×9,600+消	291,696
その他	3,090
合 計	1,365,241

残高

5,218,236

なにはともあれ二十周年記念式典は成功のうちに終わったが、同窓会はこれで歩みを止める訳ではない。三十周年を目指して新たな一歩を踏み出してゆかねばならない。運営資金の不足をどう切り抜けるか、同窓会の意識づけをどう高めてゆくかなど抱える問題は少なくないが、なんとか前向きに頑張っていきたいものである。

同窓会二十周年記念式典が無事に終了し、我々実行委員達もほっと胸をなで下ろしている。本校英語科教師である高柳康雄さん（二期生）を委員長とする実行委員会が発足されてからは、会長の大坂谷さんや幹事の猪瀬さんをはじめとして多数の同窓会役員達の協力を得て企画会議が繰り返された。そもそも一体どれほどの出席者が見込まれるのか全く検討もつかない点でそれこそ暗中模索の企画・立案ではあったが、式典当日は猛暑の中数多くの卒業生が集ってくれた。お忙しい中を出席していただいた新藤校長先生の周りにはOB達の輪ができて、就職活動の報告をする者や楽しい大学生活を自慢げに語る者など、在学中には考えられないような和やかな師弟の語らいはとりわけ印象的であった。



同窓会二十周年記念式典が無事に終了し、我々実行委員達もほっと胸をなで下ろしている。本校英語科教師である高柳康雄さん（二期生）を委員長とする実行委員会が発